

学校関係者評価委員会 議事録

【出席者】

学校関係者評価委員 (敬称略 順不同)

秋山 英作	大日通信工業株式会社
大音 和豊	モノプラス株式会社
小森 望充	国立大学法人九州工業大学
佐々木 啓	久米電気株式会社
秋山 英作	大日電子株式会社
乾 克彦	大阪電業協会
岩本 浩一	株式会社キンコー
高松 光示	中央電設株式会社
渡邊 隆行	株式会社セイコー

学校関係者

木村 誠	学校長
松本 哲也	司会 総務ユニット班長
河村 雅章	電子工学科主任
中本 智	就職ユニット主任 電子工学科 2年担任
上田 良和	教務ユニット班長 電気設備科 2年担任

【日 時】 2020年12月22日 10時00分～11時00分

【場 所】 大阪電子専門学校 3階 コワーキングスペース

- 【議 案】
1. 委員長選出
 2. 教育方針案 報告及び質疑応答
 3. 昨年度会議議案の経過報告
 4. 感染症対策状況

【議 事 録】

1. 委員長選出

全体の委員長……………乾 委員
電気設備科委員長……………高松 委員
電子工学科委員長……………佐々木 委員
情報エンジニア科委員長 ……大音 委員

2. 教育方針案 報告及び議論

・2020年度方針(学園事業計画より抜粋)

人技両立の精神のもと、AI×ロボット時代のエンジニアを育成

学校関係者評価委員会

・電気設備科

次年度は 15 名の入学希望者あった。電気工事士不足の中、就職については安定している。
第二種電気工事士認定校であり、インフラを支える重要な教育を行っている。

・電子工学科

純粋な電子工学から、情報分野を取り組む。従前からのハードウェアに関する教育内容に加え、ソフトウェアに関する内容を強化する。

・情報エンジニア科

先進分野である AI 分野の科目(「AI プログラミング」「AI 概論」)を開設しており、今後も教育内容を充実させていく。大学とは異なる、専門学校ならではの教育に取り組む。

・資格対策

(電気設備科)

資格取得状況として認定施設のため第二種電気工事士は、卒業生全員が取得できている。

第一種電気工事士について、2 年生は試験合格は 8 名、1 年生は試験合格は 6 名となっている。

本年度は、消防設備士試験を学内で実施した。

工事担任者 DD1 種合格者は 1 名となっている。

第二級陸上特殊無線技士は 1 年生終了時に全員取得できている(学科で認定を受けているため)

(電子工学科)

工事担任者 DD3 種について、1 年は 12 名中 6 名の合格となっている。

2 年は受験するかどうかは学生に任せている

第二種電気工事士は 1 名合格(国家試験を受験)

(情報エンジニア科)

基本情報技術者試験について、新型コロナウイルスの影響により延期されたことで、2 年は合格率が低下した。また、午前試験免除試験 37 名受験/19 名合格により、合格率は 50%を超えた。

新たに AI 関連の資格としてディープラーニング G 検定を目標資格としたが、クラウド(AWS)関連の資格についても検討している。

・就職状況

就職率は 9 割程度。次年度もセミナーやインターンシップを実施し、就職率向上に取り組む。
年明けには校内企業研究会を実施し、学生の就職意識を高めていく予定。

3. 昨年度会議議案の経過報告

(電気設備科)

- ・CAD について教育カリキュラムに入れる件について、以前から実施されているが、現在改善を計画している。
- ・学生に学内電気工事を行わせる件について、当校の設備が 500kW 未満のため、法令上実施不可であることが確認できた。
- ・卒業後に再度就職を目指す学生へのフォローについて、その学生の担任を行った教員が実施している。
- ・書類の作成が苦手な学生に対して、担任から履歴書などの書き方は指導を行っている。
- ・インターンシップをより学生に勧め、実際の現場の環境を肌で感じてもらえるよう対応を行っている。

(電子工学科・情報エンジニア科)

- ・専門学校は2年しかないため、資格取得を重視している。
- ・クリエイター系コースは、実習や基礎をしっかりと行っている。

4. 感染症対策の状況

本校で実施しているコロナ対策について、政府や大阪府の基準以上の対策に取り組んでいることを確認した。

5. 質疑応答

- ・遠隔授業について、学生は自宅で受講したのか？
⇒学生は自宅で受講した。教員は学校で授業を配信した。
- ・学生の要望に対応とあるが、どのような根拠で実施しているのか。
⇒学生アンケートにより要望を把握し、他校の状況も参考にしつつ対応している。

以上